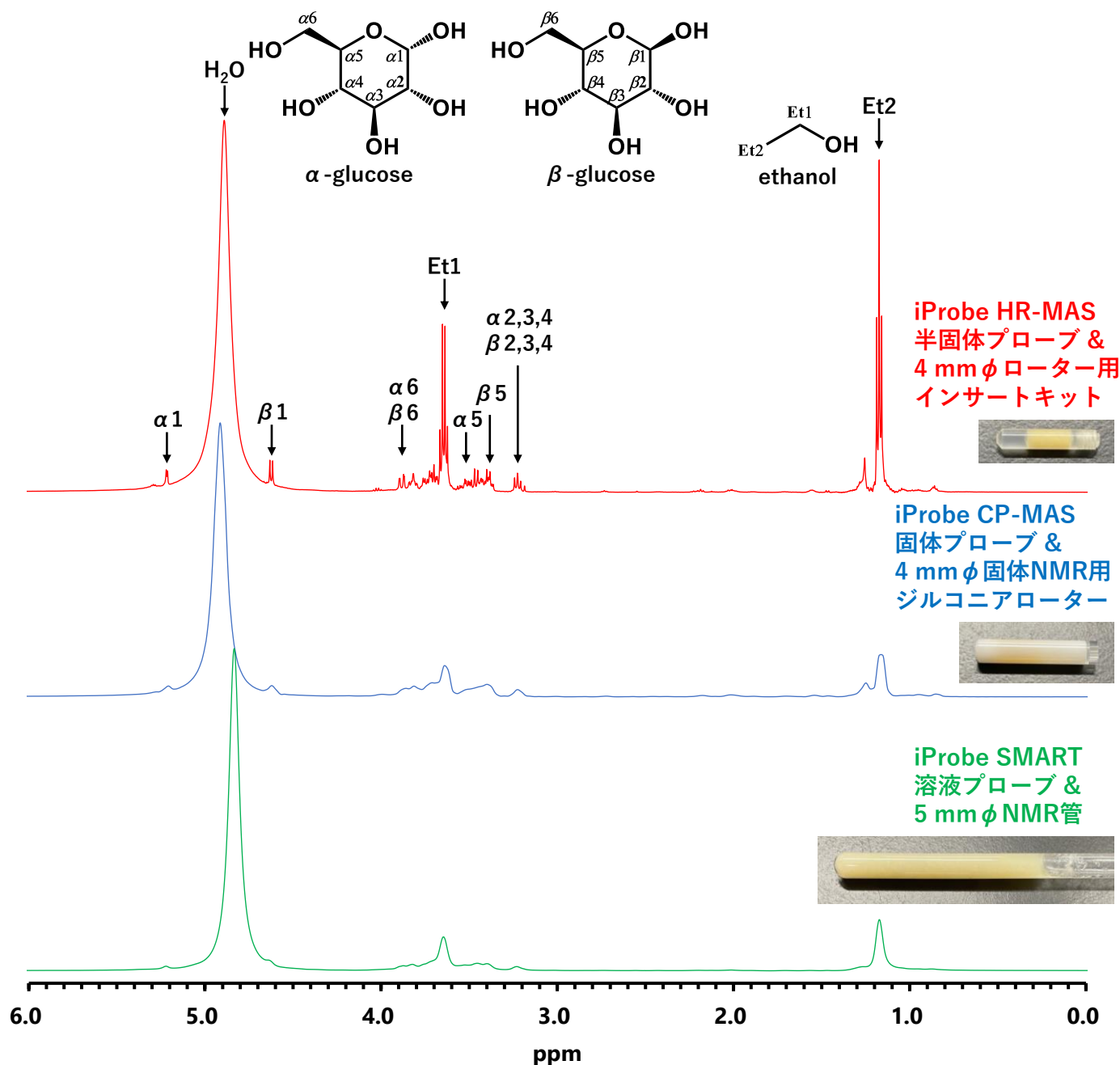


清酒酒粕のNMR測定（半固体・固体・溶液プローブ使用）



ゲル等の半固体状試料測定用プローブを用いることで、通常溶液プローブや固体プローブでは測定が難しい、**酒粕をD₂Oに分散させた泥状の懸濁液でも明瞭な一次元の¹H-NMRスペクトルが得られた。**

使用装置 Bruker NMR AVANCE NEO 500 MHz, 各種プローブ（溶液, 固体, 半固体）

試料

少量のD₂Oを添加し分散させた清酒酒粕懸濁液を調整した。
30 μL（半固体・固体プローブ用）， 0.6 mL（溶液プローブ用）

測定条件

室温, 回転数 5 kHz（固体, 半固体） 20 Hz（溶液）， 積算回数 16回

試料の名大清酒「なごみ桜」酒粕は名古屋大学大学院生命農学研究科 MATURANA Andres Daniel 准教授にご提供いただきました。

参考文献

1. HR-MAS NMR Spectroscopy: A Practical Guide for Natural <http://dx.doi.org/10.2174/13852728113179990126>

問い合わせ先

全学技術センター分析・物質技術支援室 沢田 義治
y_sawada@agr.nagoya-u.ac.jp